

3月11日のウクライナ情報

安齋育郎

●ウクライナ大統領の偽動画は、ディープフェイクが戦争の“武器”となる世界を予見している(WIRED、2023年3月)

ウクライナのウォロディミル・ゼレンスキー大統領のディープフェイク動画(偽動画)がネット上に投稿された。ロシアへの降伏を呼びかける内容の今回の偽動画は素早く削除されたが、ディープフェイクの技術が政治や戦争の“武器”となりうる現実が改めて浮き彫りになっている。

ウクライナのウォロディミル・ゼレンスキー大統領がロシアへの降伏を発表しているように見せかけたディープフェイク動画(偽動画)を敵側が作成している可能性がある——。そんな警告をウクライナ政府の戦略的コミュニケーションセンターが発表したのは、3月2日(米国時間)のことだった。その警告が、どうやら現実のものになったようだ。

FacebookとYouTubeで3月16日(?)に確認された偽動画には、異様に動きのないゼレンスキーが登場し、いつもの口調とは異なる声でウクライナ軍に武器を置くよう呼びかけていた。米国のシンクタンクのアトランティック・カウンスルによると、この動画はTelegramのほかロシアのSNS「VKontakte(フコンタクテ)」にも投稿されたという。テレビ局のUkraine 24によると、ハッカーがこの動画から切り取った静止画を使った同局のウェブサイトを書き換え、番組で流れるテロップにこのフェイクニュースの要約を挿入していた。

Ukraine 24がこのハッキングについて投稿した数分後、ゼレンスキー自身がFacebookに動画を投稿した。ウクライナ人に武器を置くよう呼びかけたことを否定し、偽動画を幼稚な挑発であると断じたのである。

Facebookの運営元であるメタ・プラットフォームズのセキュリティーポリシー部門を統括するナサニエル・グライシャーは、誤解を招く恐れのある操作されたメディアに対するポリシーに違反したとして、このディープフェイク動画を削除したとツイートした。ツイッターの広報担当者が発表したコメントによると、同社はこの動画の動向を追っており、偽の合成メディアを禁止する規則に違反した場合は削除しているという。ユーチューブの広報担当者も、やはりアップロードされた動画を削除したと説明している。(後略)

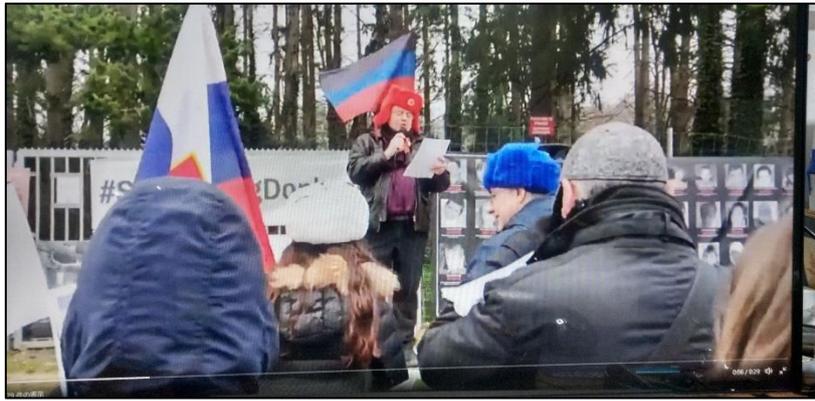
<https://twitter.com/i/status/1504123674516885507>



●カエサル砲を生産するネクステルグループ。フランスはこれらの武器をウクライナに送っています(2023年2月27日)

集まった人々は、ドンバスの人々への支持を表明し、キエフへの武装をやめることで第三次世界大戦を回避するよう呼びかけた…

<https://twitter.com/i/status/1629968566262038529>



●アンナ・パウリナ・ルナ下院議員の弁(2023年3月4日)

ゼレンスキーのバイラルビデオを見ていない人のために説明すると、彼はそこで、もしお金を集め続けなければ、ロシアがバルト海を占領して第三次世界大戦が始まると述べています。

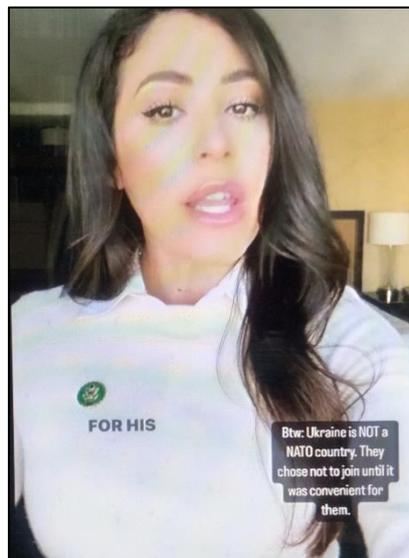
これは嘘であり、彼は戦争のための資金を集めるために恐怖を煽っているだけです。2014年にロシアがクリミアを占領したとき、戦争についても脅しについても、誰もそのようなことは言わなかったことを思い出して下さい。

覚えておいてほしいのは、他国の大統領が、議会で採決もされていない戦争に、米国は息子や娘を送り込んで死なせなければならないと言ったことです。

議会が「これ以上支払うつもりはない」と言う制限はいつ来るのでしょうか？

他の国々では、私たちがウクライナに対して行っていることのせいで、米国が侵略者であると認識されつつあります。彼ら(ウクライナ人)は、戦争を呼び掛けたときに盲目的に信頼できるタイプではありません。緊急に脱出する必要があります。

<https://twitter.com/i/status/1631797593310375936>



●第三次世界大戦を呼び込む、ゼレンスキーの危険な発言(2023年3月6日)

『アメリカ人は死ぬでしょう。』

アメリカ人は息子や娘を戦争に送り出すでしょう。今日、私たちが送っているのと同じように。何故なら、これは NATO だからです。そして彼らは戦わなければならない、死ぬ事になるでしょう。

<https://twitter.com/i/status/1632568553374351360>



●岸田首相、米国の立場に追従 「ノルドストリーム爆破に米関与」報道に言及(2023年2月24日)

岸田首相は2月24日に官邸で行った記者会見で、「ノルドストリームの爆破に米国やノルウェーが関与した」とするスクープ記事についての質問に対し、「多くの国で記事に関しては否定的な評価がされている」と述べ、**関与を否定する米国の立場に追従する姿勢を示した。**

記者会見の様子は首相官邸の公式 YouTube チャンネルで公開された。そのなかで岸田首相は次のように述べている。

「記事については、米政府は完全なるフィクションであると評価し、ノルウェー外務省もナンセンスとしている。多くの国が関与を明確に否定している。調査している国もあれば見守りたいが、多くの国で記事に関しては否定的な評価がされていると承知している」

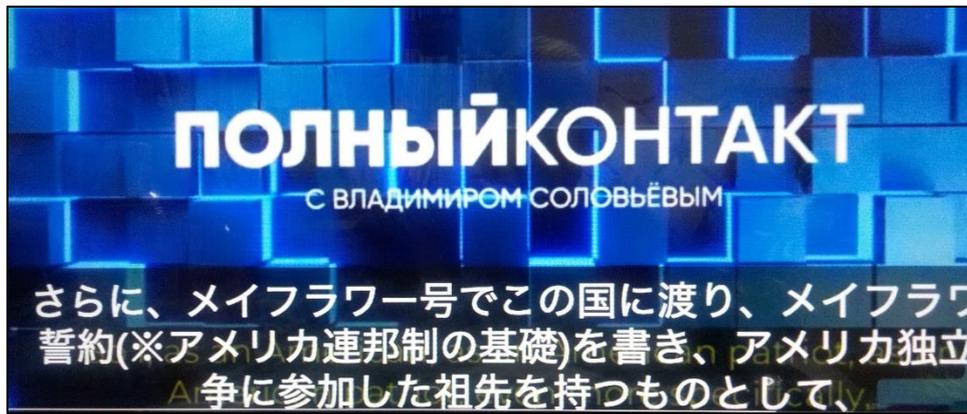
また、会見ではこれまでにウクライナに対し 71 億ドル(9600 億円)相当の支援を表明してきたと強調。主要 7 カ国(G7)の議長国として今後もロシアへの新たな制裁を主導していく考えを示した。さらに、ロシアが新戦略兵器削減条約(新 START)の参加を停止したことに対しても懸念を表明した。



●独立戦争・メイフラワー誓約署名者の孫がロシア支持を表明(2023年2月24日)

ロシアが強くなる事は、世界中の多くの人の希望となります。ロシアは屈服して敗北を見せるような姿勢は見せない。あなた達の仲間が応援する様にロシアとロシア人がしている事が嬉しい。

<https://twitter.com/i/status/1629118878499639296>



●中央アフリカ共和国での欧米の会縫うに反対する人々(2023年3月5日)

中央アフリカ共和国の首都バンギでは、モスクワとの協力関係の停止を要求する欧米の介入に対し、多くの人々が反対デモを行い、ロシア支持を明確に示した

<https://twitter.com/i/status/1632211559052369920>



●ロシア同盟国セルビアで、プーチン氏支持のデモ行進

ロシア同盟国セルビアの首都ベオグラードで3月4日、ロシア支持を訴える人々数千人がプーチン大統領の写真を掲げながらロシア大使館に向かってデモ行進した(ナレーションなし)。

<https://twitter.com/i/status/1500712851173949444>



●ブチャの虐殺の真実についての考察(安齋育郎、2022年5月執筆)

ウクライナ戦争、ブチャの大虐殺の真実

安齋育郎(2022年5月執筆)

●ブチャの大虐殺

2022年4月初旬にウクライナの首都キーウ(キエフ)の北西10km程の人口35,000人のブチャ市で起きたとされる「ブチャの大虐殺」は、ロシア軍の残虐性を示す最たる証拠として、4月9日には国連総会決議まで行なわれ、ロシアに「戦争犯罪国家」の烙印を押しました。少なくとも410体以上一般市民の拷問・虐殺遺体が発見されたということで、この事件は国際的に大きな波紋を広げました。

ところが、実際には「ブチャの大虐殺」はウクライナ軍によるものであり、そのことが明らかになるにつれて、西側報道は「ブチャの大虐殺」について沈黙するようになりました。

●事実経過

ブチャでは2月24日のロシア軍によるウクライナ侵攻開始3日後の2月27日から、ロシア軍と極右民兵団として知られる「アゾフ大隊」を含むウクライナ軍が戦闘を続けていました。しかし、ロシアとウクライナとの停戦交渉が進んだため、ロシア軍はキーウ周辺から撤退することを決め、ブチャでも3月30日にロシア軍が完全撤退しました。アゾフ大隊というのは、もともとはアゾフ海沿岸のマリウポリを拠点とするネオナチ主導の準軍事組織でしたが、現在はウクライナ内務省管轄の正規の国内軍組織である国家親衛隊に所属しています。なお、「ネオナチ」とは、第二次世界大戦期のドイツでアドルフ・ヒトラーに率いられたナチズムの思想に傾倒した排他的・反社会的行動をとる集団を意味します。

ブチャ市長のアナトリー・フェドルク(ペドルクとも表記)は4月1日、「3月31日は、ロシア軍から解放された日として私たちの街の歴史に刻まれるだろう」と述べ、(実際にはロシア軍が自ら撤退したのですが)「ブチャを奪還した」と発表しました。しかし、奇妙なことに、この時市長は虐殺について何も言及しませんでした。

翌4月2日、ウクライナ国家警察がブチャに入ったにもかかわらず、この虐殺事件については一切言及されず、公表された映像で町に遺体のごろごろしているような状況もなく、住民も虐殺について語りませんでした。

ところが、翌4月3日になると突然街に遺体が現れ、マスコミの撮影会が行われ、ロシア軍による大虐殺として世界中に報道されました。フランスのAFP通信などによって、「民間人とみられる多数の遺体や集団墓地が確認された」と報じられ、大問題になりました。ウクライナのゼレンスキー大統領はこの日アメリカのCBSの番組で、ロシア軍の一連の行動は「ジェノサイド」とであると主張し、イギリスのボリス・ジョンソン首相は「プーチンとその軍団による新たな戦争犯罪だ」と激しく非難する声明を出し、制裁やウクライナへの軍事支援を強化する考えを示しました。

一方、ロシア国防省は4月3日、「市民の誰一人としてロシア軍による暴力を受けていない」とロシア軍の関与を全面否定、殺害された人々の映像や写真は「ウクライナ側による挑発だ」と主張しました。ロシアのワシリー・ネベンジャ国連大使も、4月4日、ブチャで撮影された遺体はロシア軍撤退前にはなかったと記者団に語り、「遺体は突然、路上に現れた」「ウクライナ側が情報戦争を仕掛けた」と述べました。そして、ロシアは国連安保理でブチャの事態に関する話し合いを緊急に持つべきだと繰り返し提案しましたが、安保理の議長をつとめるイギリスはロシアの提案を却下、その後も、「国連が第三者組織を作ってブチャの大虐殺現場を現地調査すべきだ」というロシアの提案は却下され続けました。ロシアがブチャ大虐殺事件の実行犯である場合、これ見よがしに遺体を放置したまま撤退するとか、国連が第三者組織を作って現場検証すべきだと主張するとかは、普通は考えにくいでしょう。実は、ウクライナ当局も中立な第三者組織の現地調査を認めておらず、遺体とその周辺の瓦礫などはウクライナ側によって片付けられて「証拠隠滅」が進んでいるとも伝えられています。

ロシア軍撤退の翌日、ブチャのフェドルク市長はロシアに対する「勝利宣言」をしましたが、「戦闘で破壊され瓦礫が散らかっているブチャの街をきれいにする」とは述べたものの、虐殺については一言も触れず、何日か経ってから「ロシア軍が撤退する前に市民を虐殺していった」と言い出しました。もしも彼の言い分が正しいのなら、ロシア軍撤退翌日の3月31日にはブチャの街路に市民の遺体が転がっていたはずでしょうし、「これから街路を清掃する」などと言わずに、街頭に転がる遺体にこそ言及したでしょう。ロシア側は、「そのような言及がないのは、その時点で街頭に遺体になかったからだ」と言っていますが、4月2日にウクライナ側が流したブチャ市街の動画にも遺体はありませんでした。

●動かぬ証拠—クラスター爆弾

フランスの国家憲兵隊法医学部門の18人の専門家は、キーウの法医学関係者とともに遺体を詳細に調査し、多くの遺体から「フレシエット弾」の破片が出てきたと発表しました。「フレシエット」とはフランス語で「ダーツ」「矢弾」の意味ですが、先端に矢じりが付いている長さ4cm程の榴散弾で、戦車砲やロケット砲などから発射される「親弾」に最大8,000発のフレシエット弾を「子弹」として仕込んで空中で炸裂させるクラスター爆弾です。降り注ぐ金属ダーツで無差別に人を殺傷する残虐性の高い兵器で、ベトナム戦争でも米軍によって使用されました。

ロシア軍は「この戦争で榴散砲は使用しておらず、ましてやブチャで活動している空挺部隊はそのような弾薬を持っていない」と言明していますが、一方のウクライナ軍はドンバス地方での内戦で親ロシア派の住民に対して榴散弾を用いたことが知られています。

スペインのメディア“mpr21”は、4月26日、「ブチャの大虐殺を行なったのはウクライナ軍である。ブチャの大虐殺についてメディアは突然沈黙した。この沈黙は、フランス国家憲兵隊の調査が開始され、死体から金属ダーツが発見された結果である」と報じました。

現地調査は今からでも遅くはありません。榴散弾の破片は人体に食い込んだだけでなく、あたり一面の建物や地面に突き刺さったでしょう。たとえウクライナ軍が証拠隠滅を試みたとしても、榴散弾のすべての破片を回収することなど不可能です。見つかった榴散弾の破片を元素分析すれば、それがロシア製か、ウクライナ製か、アメリカ製か、簡単にわかるでしょう。だから、ウクライナは、ロシアに向け

た「戦争犯罪国家」の汚名が自分に降りかかってくることを避けるために、今後も現地調査に反対し続けるに相違ありません。

私たちは、これ程重要な情報でさえ捏造されたり歪曲されたりするのだということをしっかり認識しておかなければならないでしょう。何よりも、私たちが、ウクライナ戦争を焚き付け、消火することを妨害しているアメリカの従属国に住んでいることの意味を深刻に認識すべきでしょう。

コメディアン出身のゼレンスキー大統領がアメリカの傀儡として「戦争の早期終結」にさえ向かうことが出来ず、まるで操り人形のように「武器をくれ。ウクライナは降伏せずに戦い抜く」と叫び続けている姿は「哀れ」そのものです。

ジョー・バイデンが副大統領になった 2009 年以来、ウクライナに NATO 加盟を囁(けしか)け、そのために 2013~14 年の「ユーロ・マイダン・クーデター」を利用して傀儡政権づくりに取り組み、そしてついにウクライナ憲法に「ウクライナ首相は EU および NATO 加盟への努力を実行する義務を負う」とまで書かせた一連の画策・陰謀の総仕上げとして、ウクライナ国民を犠牲にして戦っているこの戦争において、「ブチャの大虐殺」という大嘘までついて国連を含む国際社会を非人道の道に引きずり込もうとしているアメリカは、余程焦っているのでしょうか。

ロシア軍撤退時の蛮行とされた『ブチャの悲劇』もウクライナ側の仕業だった。

報道

ブチャの大虐殺事件

(2022年3月~4月)

ブチャで少なくとも410体を超える一般市民の拷問・虐殺遺体が発見され国際的に大きな波紋を広げています。

「ブチャの遺体群」は日本の報道陣も確認している模様で、この時期に市民を対象に何らかの拷問、殺人行為があったことは、まず疑いようがありません。

しかし、ロシア外相は公式に否定し、国連安全保障理事会・緊急会合の開催を要請すると表明。



ロシア軍撤退二日後も、ブチャ市長は「ロシア軍の蛮行」について語らなかった。

ロシア軍撤退後、ブチャ市長は「死体ゴロゴロ」について何も言わなかった



ブチャ市長 アナトリー・フェドルク

ロシア軍は3月30日にブチャを撤退しました。

ブチャ市長のアナトリー・フェドルク氏は、4月1日、「3月31日は、ロシア軍から解放された日として私たちの街の歴史に刻まれるだろう」と述べ、「ブチャを奪還した」と発表しました。

しかし、奇妙なことに、この時市長は「街中に死体ゴロゴロ」について何も言及しませんでした。

四月二日のウクライナ国家警察のパトロール映像にも「蛮行」は映っていないかった。

ウクライナ国家警察がブチャに来た 4月2日の街の映像を公表

翌4月2日、ウクライナ国家警察がブチャに入ったにもかかわらず、この虐殺事件については一切言及されず、町に遺体のごろごろしているような状況もなく、住民も虐殺について何も語りませんでした。



4月2日には、街に「死体ゴロゴロ」はなかった

しかし、四月三日になって、突然、「街に死体ゴロゴロ」が映し出された。

4月3日、突然、街が「死体ゴロゴロ」になった

ロシア軍撤退後にブチャに進駐してきた極右民兵団は、青い腕章をしていない中立的な住民、もしくは、白い腕章をしている親口的な市民を見つけたい射殺していたことが、撮影された動画からうかがえた。



ウクライナは遺体の白い腕章も外すべきだったが、そこまで気が回らなかったらしい。

「ブチャの悲劇は演出されたものだ」

最高議会議員 Illia Kiva (イリヤ・キヴァ) 氏

ウクライナの元社会党のリーダーで、最高議会議員の Illia Kiva (イリヤ・キヴァ) 氏は「ブチャの悲劇は演出されたもので、事前にウクライナ保安庁 (SBU) と MI6 (イギリス秘密情報部) によって計画されたものだ」と述べた。

「彼らはあの日の早朝に現地に到着し、エリアを隔離して死体を置いた」と言う。



Illia Volodymyrovych Kyva

※出典 : Ilya Kiva, on Bucha, 5 April 2022

最高議会議員のイリヤ・キヴァは「ブチャの悲劇」は演出されたものと言っている。

「ブチャの悲劇」の遺体から「フレシエット弾」の破片が見つかった。

遺体から「フレシエット弾」見つかる

フランス国家憲兵隊法医学チーム調査

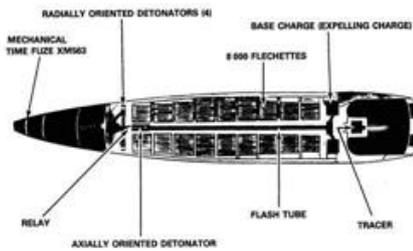


ブチャの遺体のフレシエット弾

ドンバスでウクライナ軍が用いていたフレシエット弾

フレシエット弾 (釘状のものをばらまく殺傷兵器)

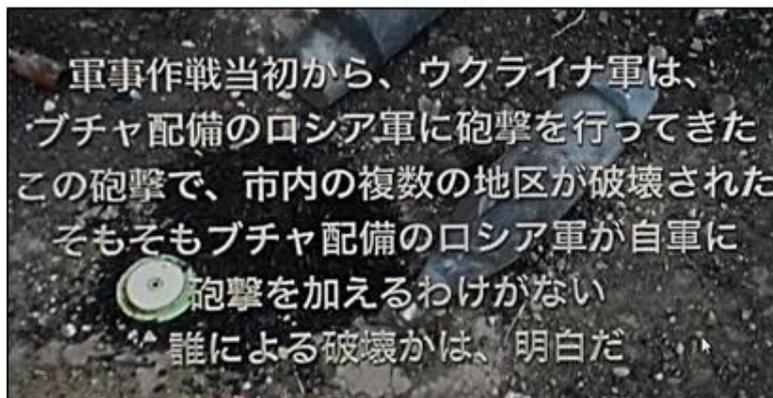
フレシエット弾はウクライナ軍がドンバス内戦で使っていた実績がある。



ブチャ事件の「そもそも」

ロシア軍が自軍の反人権的証拠を残して撤退するか？

ロシア軍がわざわざ「非人道的行為」の証拠を残して撤退するだろうか？



自陣を砲撃するか？

ブチャの犠牲者の多くは「親口派住民」だったこともロシアの仕業説を疑わせた。

ブチャの犠牲者の多くは親口派住民だった

白い腕章(親口派)やロシア軍の配給品を持つ人々



右はロシア軍がブチャ市民に配布していた緊急用の食料品が入った緑色の紙袋

イギリス人傭兵の手帳から、ブチャなどで
の虐殺を示唆するメモが見つかった。

捕虜となった傭兵の手帳にも虐殺の証拠が

記録データが実際の地形と一致

捕虜になったイギリス人のウクライナ傭兵アンドリュー・ヒルの手帳から、ブチャとイルピンで虐殺した280人の埋葬場所が見つかった。

捜査により、手帳に書かれたデータが実際の地形と一致した。



アンドリュー・ヒル

2万人以上の外国人傭兵がキエフの軍隊の隊列で戦っていると伝えられている。ロシアは、外国人傭兵は捕虜として扱われないと警告した。これらの傭兵は、戦犯として裁かれる可能性が高い。